

■ 2学期がスタート！



いよいよ2学期が始まりました。長い夏休みが終わったばかりでペースがつかめないという人もいるのかもしれませんが、順調にスタートを切ってほしいと思います。

2学期は気候も良く、学習にスポーツに、読書や文化的な活動に・・・と、それぞれ目標をしっかりと立てて充実した生活をしていけるようにしてほしいものです。特に3年生諸君は、進路活動を本格化させていかなければならない時期になります。「希望進路実現」に向けて、緊張感を持って取り組んでいきましょう。なお、これからは3年担任の先生方の調査書作成が立て込む時期です。必要な人は、2週間くらいの余裕を持って、進路指導室で申し込みましょう。9月は総合型入試が本格的に始まる時期ですが、各大学や専門学校に送付する志願書も必ず担任の先生や進路指導担当の先生にチェックしてもらうようにしてください。いずれにしても、手遅れにならないように早め早めに進めていくことが大切です。

■ 3年生の就職希望者へ



夏休み中も BLEND でお伝えしていましたが、就職希望者は、基本的に9月5日(月)から9月8日(木)が企業側に提出する書類の受付期間で、9月16日(金)から採用試験が始まります。今年度は9月17日(土)から9月19日(月)までが3連休となるため、9月16日(金)もしくは9月20日(火)辺りで採用試験を実施する企業が多いものと思われます。企業側に提出する書類は、①鑑文(※挨拶文で、学校側で準備します)、②調査書(※学校側で準備します)、③履歴書の3点になります。就職を希望するみなさんは、③の履歴書をしっかり準備しておきましょう。特に、「志望動機」を自分の言葉で書けない生徒が多くいますので、よく考えて200字~250字程度でまとめるようにしましょう。趣味や特技についても、面接で面接官が受験者の人となりを知るために質問してくる可能性がありますので、適当に何となく書くことのないように注意してください。なお、簡易書留の速達で送るようにしますので、費用として800円前後かかりますので準備するようにしてください。

その他、公務員や自衛隊などを希望している諸君は、各自で申込みをしたり、学校で設定して申込みを済ませたりしています。自衛隊については、そこまで高い学力は求められない印象ですが、しっかりと準備して備えましょう。公務員についてはどの分野にしても、かなり高い学力が求められます。最後まで諦めずに問題集に繰り返し取り組みましょう。

■ 大学や専門学校への入学試験に向けて

大学、短大、専門学校等を総合型（AO）で受験希望する生徒は、9月から本格化していきますので準備を進めていきましょう。夏休み中に登校して、「志望理由書」等を作成していた生徒もいましたが、まったく登校しないで2学期を迎えた生徒も多くいるものと思われます。今後、しばらく進路指導室に生徒が殺到することが予想されますが、「志望理由書」などは、担任や進路指導担当者に早めに確認してもらうようにしましょう。



推薦入試は「指定校制」、「公募制」など種別を問わず、基本的に11月に実施する大学、短大、専門学校が多いものと思われます。その第1回目の「推薦会議」を9月の上旬（前半）に実施する予定です。該当者が決定したら、要項を配付します（※受験人数が確定した後に、各大学等から取り寄せるケースもあります）。総合型も含めてWEB出願の大学、短大、専門学校も増えていますが、よく確認して対応する必要があります。

最後になりますが、例年本校で最も受験者が多い東日本国際大学およびいわき短期大学については、受験料が発生しませんのでご注意願います。例年、注意喚起しているのですが、納入してしまう人がおり大学側に迷惑を掛けてしまっています。加えまして、同大学・短大希望者は、「奨学生申請書」の提出も求められますのでご承知おきください（※「学生募集要項」に添付されています）。

■ 日本学生支援機構・予約採用について

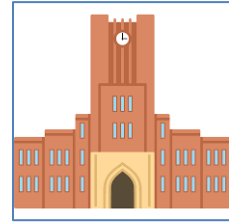
日本学生支援機構奨学金の予約採用について、今年度3回目（※本校では2回目）の申込みは夏休み中に完了しております。6月（校内第1回目）で申込んだ人は11月末頃、7月（校内第2回目）で申込んだ人は12月末頃までには結果通知が届くものと思われます。



なお、予約採用の申込みが終わった後、「当初、就職を希望していた息子が進学をするようになったが、奨学金の申込みはできないか」という趣旨の問合せが保護者からありましたが、進学決定先の入学手続きの際にご対応いただけるものと思います。ただし、予約採用は5月頃支給に対して、予約採用でない場合は7月以降の支給となるようです。ご承知おきください。加えまして、やはり、マイナンバー提出書の未提出が何件かあったようで、生徒もしくは保護者の方から問合せをいただきました。マイナンバーに関しては学校の方ではタッチできません。提出が遅れますと審査も遅れ、結果通知が届くのが上記の予定よりも遅れる可能性があります。

最後になりますが、先の話で申し訳ありません。結果通知が届いたら、入学手続きの際に結果通知に基づいて手続きをしていただかないと予約採用が完了いたしませんので、ご注意ください。

■ 学習合宿での経験を活かそう！



8月21日（日）から8月26日（金）まで、特別進学コースの1～3年生が国立オリンピック記念青少年総合センターで学習合宿を実施しました。コロナ禍で3年ぶりの実施となりましたが、規則的な生活のもと、朝から夜遅くまで集中的に学習（授業・講習・自習）に取り組み、予備校の先生の授業や東京大学見学などもあり、盛りだくさんの内容だったと思われます。

学校を離れて、普段とは違う学習環境で刺激も多かったことと思いますし、クラスメートや他学年の生徒たちと生活を共にすることで、今まで見えなかった部分が見えるようになったりして、お互いをよく理解することのできる時間にもなったことでしょう。大事なことは、集中して取り組んだテキスト（教材）の復習を徹底すること、予備校の先生に教わった学習方法などを実践し、少しでも活かすことだと思います。ただやりっ放しにしてしまうことはよくありません。

東京大学を見学してみてどうだったでしょうか？ アカデミックな印象を受けたのではないのでしょうか？ キャンパスは広く緑も豊かで、歴史的な建造物とともに最新の設備も多数整備され、「ここで思いっきり好きなことを勉強してみたい！」と思った生徒もいたことでしょう。何がきっかけであれ、学習に励む意欲が高まれば、参加した甲斐はあったということになるでしょう。

■ 9月末に中間考査



今年度の2学期中間考査は、9月27日（火）から9月29日（木）にかけて実施されます。9月は19日（月）が敬老の日、23日（金）が秋分の日など、祝日も多く、おそらくあつという間に考査を迎えることになるかと思われます。連休が重なりますので、いろいろ行事もあるかと思いますが、計画的に準備して考査に備えましょう。

3年生はいよいよ総合型をはじめ、受験シーズンに突入します。専門学校などについては、もうすでに合格が決まっている人もいますし、近く実施される校内の推薦会議をクリアし、11月に実施される学校推薦型の指定校制で受験して、「あとは合格を待つだけ」などと安易な気持ちになってしまっている人もいるのかもしれませんが、例年、3年生で進路が決定するとどうしても油断する傾向が見られますが、最後まで気持ちを引き締めて、学力の向上を図ってほしいと思います。

1・2年生の諸君は、3年生になってから、慌てなくて済むよう、1回1回の考査を大切に、しっかりと準備して臨むよう心がけましょう。

■ある卒業生の話



コロナ禍でなかなか卒業生と接触する機会などもないのですが、懐かしい卒業生と接触する機会があったり、連絡をもらったりするとうれしいものです。

3月も半ばごろ、偶然、いわき市内のあるコンビニで卒業生のS君と遭遇しました。双葉町出身の彼は、東日本大震災で長く避難生活を強いられるなど、大きな影響を受けました。今年の3月11日で東日本大震災から11年が経過しましたが、多くのテレビ局で、未だ全町避難の状況にある双葉町のことが取り上げられていました。そういったニュース等を見るたびに、筆者は先のS君のことが頭に浮かんでいました。S君は高校在学中、卓球部に所属していました。いわき市以外で県大会があるとき、S君はいわき市内に住むおばあさんの家に泊まり、そのおばあさん宅に筆者が朝、迎えに行き、試合会場に引率し、試合後は双葉町の自宅まで送るというケースがよくありました。そういったこともあり、双葉町のことが取り上げられるたびにS君のことが浮かんできたのでした。

S君は高校卒業後、県外の歯科技工士の専門学校に進み、資格を得て横浜市で就職したそうですが、体調を崩してしまったため、福島県に戻ってきて現在の職に就いたということです。親御さんと同居しており、元気そうで安心しました。落ち着いたら、ゆっくりお酒でも酌み交わしたいと思っています。

一方、現在横浜市内で看護師をしている卒業生からも連絡がありました。コロナ禍で忙しく大変な日々を送っているようで、しばらく帰省もしていないとのことでした。彼女は高校時代、筆者が現代社会の授業中に話したことなどの影響を受けて、ベトナムやカンボジアなどに関心を持ち、ボランティアなどでよく足を運ぶようになり、その様子やアンコール・ワットの写真などを送ってくることがありました。海外旅行どころか、なかなか休みも取れない現在の状況ですが、落ち着いたら「〇〇に行こう！」という感じで、時間を見つけては関心のある地域について歴史的なことを中心にいろいろ調べていると話していました。大変な状況でも心が折れることなく前向きな姿勢に感心しています。

毎年感じるのですが、3年生の今頃の時期は希望進路実現に向けて、進路指導室に相談に来る生徒で殺到し、生徒たちとの接触が多くなります。ある程度決まってくると、「あの賑わいは何だったのだろう」というくらい少しずつ足を運んでくれる生徒は少なくなっていくます。ただ、このわずかな時間でも心に残っている卒業生は少なくないようで、毎年のように「懐かしい」と進路指導室を訪ねてくる卒業生もいます。「あのとき、がんばっておいて良かったな」と振り返る卒業生もいます。3年生のみなさんも、まずは希望進路実現に向けて着実に努力を重ねてほしいと思います。

文責：清水聖（進路指導主事）